

平成25年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	史跡小牧山整備事業						担当部	教育委員会事務局							
	会計区分	一般会計			事業類型	施設整備系		担当課	文化振興課							
	事業期間	平成12年度以前			～		平成30年度以降		担当係	文化財係						
	総合計画 分野別計画	主目的	4 教育文化		21 歴史・文化財		5 小牧山の整備を進める									
		副目的														
	予算区分	款	10		項	5		目	6		大	4		中	2	
	根拠法令・個別計画	史跡小牧山整備構想・文化振興ビジョン														
	目的 (対象をどの様な状態にするのか)	貴重な歴史遺産を調査し、基礎資料を作成、後世に残すための整備をおこなう。														
	内容 (手段)	<p>○24年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 発掘調査（主郭地区第5次など 計390㎡） 史跡小牧山整備計画基本構想に基づき、保護と活用のバランスのとれた整備を進めるとともに、発掘調査を実施して整備のための基礎資料を収集した。 史跡小牧山バス専用駐車場の整備 史跡小牧山バス専用駐車場を舗装することにより、利用者の利便を図るとともに、団体バスによる粉塵の発生を抑え、排水機能の向上など、周辺住民の生活環境の向上を図った。 三次元計測及び石垣石材調査 石垣石材カルテ（石垣を構成している石の詳細な記録）の作成を行った。 主郭地区第5次発掘調査ビデオ記録撮影 今後の石垣復元整備のため、石垣の状態をビデオ撮影し、記録として残した。 <p>発掘調査は職員が中心となり、アルバイト作業員を指揮して調査、記録、保存を実施。その他、発掘調査現地説明会の実施や補助金の申請業務等各種手続きを行った。</p> <p>○24年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計・監理委託料（歴史館給水施設の建築に伴う設計）（556千円） 測量設計委託料（駐車場整備測量）（892千円） 測量委託料（三次元計測等）（6,756千円） ビデオ記録撮影委託料（447千円） 史跡小牧山整備工事費（駐車場等）（14,415千円） 発掘調査埋戻し等工事費（1,575千円） その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等（12,872千円） <p>○25年度直接経費の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> 監理委託料（歴史館給水施設の建築に伴う監理）（584千円） 測量設計委託料（旧本庁舎跡地の整備実施設計）（6,000千円） 測量委託料（三次元計測）（6,500千円） ビデオ記録撮影委託料（1,000千円） 史跡小牧山整備工事（園路修繕、歴史館給水施設建設、防犯カメラ設置）（16,200千円） 発掘調査埋戻し等工事費（1,700千円） その他、発掘調査作業員賃金、旅費、消耗品費等（11,288千円） 														
	受益者負担	無														

		単位	H22決算額	H23決算額	H24決算額	H25予算額	
コスト	直接経費	千円	14,263	13,752	37,516	43,272	
	正職員	従事者数	人	0.70	0.70	0.70	0.70
		人件費	千円	3,731	3,731	3,731	3,731
	その他職員	従事者数	人	20.00	23.00	27.50	14.00
		人件費	千円	6,408	6,881	12,471	9,044
	費用合計		千円	24,402	24,364	53,718	56,047
対前年比		%		99.8	220.4	104.3	
財源	一般財源	千円	19,042	17,567	44,509	44,794	
	国・県支出金	千円	5,360	6,797	9,209	11,253	
	その他財源	千円	0	0	0	0	

業	活動指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	業	発掘調査	m ²	目標	300	400	460
実績				210	400	390	
発掘調査現地説明会		回	目標	1	1	1	1
			実績	1	1	1	
業			目標				
			実績				
績	成果指標名	単位		H22	H23	H24	H25
	記録保存	m ²	目標	300	400	460	430
実績			210	400	390		
業	発掘調査現地説明会参加者	人	目標	—	—	—	—
			実績	650	400	700	

事業の自己評価	平成24年度の実施結果	事業の達成状況	平成23年度に引き続き、主郭(小牧山山頂部)の発掘調査を実施して、織田信長が築いた小牧山城の石垣が良好な状態で残っていることが確認されるなど、今後の整備に向けて基礎資料収集をすることができた。また、整備について関心を高めていただくために、発掘調査の現地説明会を実施した。				
	事業実施における課題		発掘調査後、史跡整備実施までの間、遺構の保護のため一時的に埋め戻してあるが、その理由が市民に理解されず、対応に苦慮している。				
	事業を縮小・廃止したときの影響		郷土の誇りとなるべき小牧山の歴史的価値を高めることができない。				
	平成25年度の改善内容	25年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	織田信長公による小牧山城築城450年記念事業を活用し、より多くの方々に史跡小牧山の歴史的価値について認識してもらう。また、調査成果のみではなく、発掘調査を行うことそのものの意味、遺構の保護、史跡の整備などの基本的な部分についても積極的にPRし、今後の調査・整備につなげていく。				
	平成26年度の事業の方向性	方向性の判定	拡大	対象の拡大や手段の充実等により、事業のボリュームを拡大すべきもの			
		判定理由	史跡小牧山の発掘調査が進み、永禄・天正期の小牧山の姿が明らかになりつつあり、今後は歴史館周辺の石垣の整備や本庁舎跡地地区の整備を行い、史跡小牧山を本来の姿に戻すことで歴史的価値を高めていくため。				
26年度以降の改善案		主郭地区以外の発掘調査を順次進め、遺構の解明に努めるとともに、史跡センターの整備に向けた準備を行う。また、情報を積極的に発信して整備について理解を求め、小牧山全体への関心を高めてもらう。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	拡大	一次評価のとおり。